

学校だより 熱 砂

<発行>
令和2年4月19日
発行責任者：校長
和田 政男

令和2年度ドバイ日本人学校、児童生徒118名、教職員26名で始動

4月12日、誰も経験のない、オンラインにて学級毎の始業式を行い、令和2年度のドバイ日本人学校がスタートいたしました。翌13日にはオンラインでの入学式をG1とG7において時間差で行い、G1の新入生15名とG7の新入生10名を無事に迎えることができました。

それぞれの家庭から参加した新入生は、オンラインであっても、背筋が伸びたしっかりとした姿勢で、程よい緊張感をもちながら、担任の先生の呼名に元気よく返事をしておりました。校長式辞では、G1の児童には「しばらく学校に来られないが、早寝、早起き、朝ご飯の習慣をしっかりとつくること」、G7の生徒には「よりよい価値観を身につけることが成長なのだと思う。心も身体も大きく成長する中学3年間で、質の高い経験をたくさんし、大きく成長してほしい」と、それぞれ期待することを話しました。

下表に、令和2年度4月時点の在籍数を載せました。本校に入学予定でありながら、UAEに来ることが出来ずに入学を延期している児童・生徒が11名おりますが、その数は含めておりません。

学年	小学部							中学部				合計
	G1	G2	G3	G4	G5	G6	計	G7	G8	G9	計	
男子	7	8	6	8	9	3	41	6	3	1	10	51
女子	8	9	11	6	8	7	49	4	6	8	18	67
計	15	17	17	14	17	10	90	10	9	9	28	118

Q. 昨年度の通知表「あゆみ」の配付について／今年度の教科書の配付について

A. 新型コロナウイルスの

感染拡大防止のため、これまで教科書を含む書類の配付が禁じられておりました。18日夜、書類の配付を認める旨のアナウンスがKHDAよりなされたとの報道がありました。今後、KHDAに確認しながら、教科書と「あゆみ」の配付について計画し、4月中には配付したいと考えております。

Q. オンライン授業の録画について

A. Teamsには、ビデオチャットの録画機能があるとのことで、先生の話等を繰り返し聞きたいと録画を希望するご家庭がありました。しかし、録画をするとその画像は自動的にTeams上にアップされるようで、個人情報の保護の観点から問題があることがわかりました。従って、本校で行うe-learningにおいては、録画をしないようお願いいたします。

このほかにも、

- ・ICTを利用した教育が進む
- ・他校に通っている兄弟の学校よりも内容が良い
- ・先生方の熱意が感じられる
- ・子どもは楽しそうに学習している

等々、嬉しい評価もたくさんいただいております。これらを励みに、試行錯誤しながらも更に工夫を加え、より良い取り組みを目指して参ります。今後とも忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

e-learningはどんな感じ？

アンケート結果から

4月12日より開始したe-learning。毎日授業が終わってから先生方はビデオ会議にてその日気になったこと、困ったことを報告し合っています。また、週末には本校が手探りで始めたe-learningについて保護者アンケートを実施いたしました。

それらを受けて、e-learningで学習を進める際の「エチケットやルール」をまとめ、今週の道徳の時間で指導するほか、学級懇談会での話題といたします。

また、ここでは、自由記述でいただいたことの内、全体で共有したいことへの回答を掲載いたします。

Q. 今回の特別措置で、規定授業数や授業内容の遅れ等はないのでしょうか？

A. 残念なことではありますが、登校できない期間が長期間に及ぶことから、多くの行事を中止にせざるを得ません。その行事の時間や準備に要する時間が授業に振り分けられるため、教科の授業時間が大きく減ることはありません。また、e-learningで取り組みにくい実技教科の時数確保が難しくなる半面、主要教科についてはむしろ多く時間を割ける実態もあります。なお、現状は日本や世界各国でも同様であり、文部科学省でも学習指導要領の柔軟な運用は仕方がないことと捉えております。